



古井研究室 小松原 立稀 さん

【将来の抱負】

この度は、環境資源工学会の奨学生として採用していただき、大変光栄に存じます。ご支援していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

私は、シェール層における坑井不安定化問題の数値解析モデルに関する研究をしております。近年、非在来型資源開発が進む中で複雑な坑井を掘削することが増え、坑井不安定化問題が在来型資源開発よりも多く生じることが考えられます。それに伴い、開発コスト及び非生産時間（NPT）の増加も予測されます。私の研究では、石油・天然ガス開発における坑井不安定化問題を解決する糸口を届け、開発コスト及び NPT の低減に貢献できるのではないかと考えています。

今後は、早稲田大学大学院に進学し、自身の研究をより発展的なものにしたいです。また、今年の夏休みを利用して、日本財団が主催する海洋開発サマースクールに参加し、Texas A&M 大学で石油工学の知識を広げて参りました。このような経験を通して、大学院卒業後は博士課程取得のために留学を考えています。将来は、グローバルに働く石油生産技術者となり、エネルギー業界に貢献したいと思います。この度は誠にありがとうございました。

小松原 立稀